

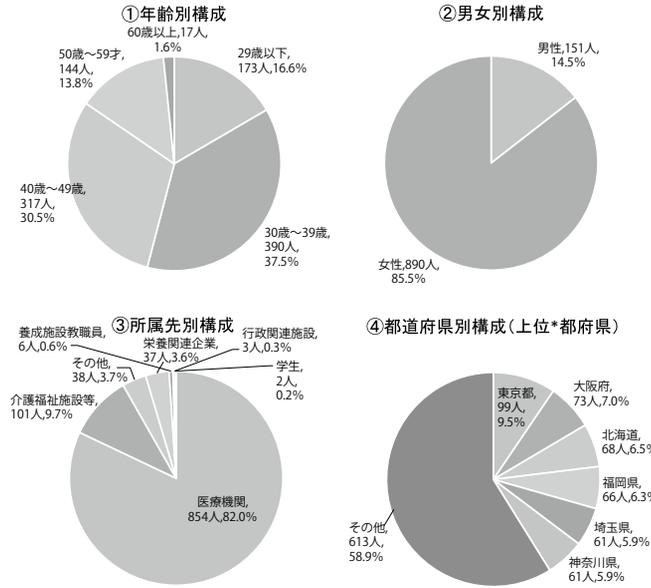


# 「資格認定基礎講習」修了者が1000名を突破！ 全国で「栄養経営」の輪が拡大中！

栄養経営士という資格がなぜ必要なのか、栄養経営士に求められるものは何かを学ぶためのものとして、一昨年よりスタートした「栄養経営士資格認定基礎講習」(以下、基礎講習)。受講・修了することが資格認定試験の受験資格ともなっており、栄養経営士を目指すための第一歩と位置付けられているが、この度、その修了者が1000名を突破した。

一昨年は全国7会場、今年は東京・大阪・福岡の3会場で開催。会場で受講・修了した945名に加え、DVDの視聴により受講・修了した方が96名となり、修了者は1042名となった(10月31日現在)。

基礎講習を修了するために受講後にレポートの提出が義務付けられている。受講者はしっかりと講義を受け、自身の業務に照ら



し合わせながら「栄養経営」という考え方を学び、栄養経営士が果たすべき役割・責任を理解することが求められる。1000名を超える修了者がいるということは、栄養経営の考えを理解した方がそれだけいるということでもある。今後さらにこの数を増やしていくことで、栄養経営士への関心をより高めていきたい。

これまでの修了者の構成をみると、年齢別では30代が最も多く(37.5%)、30代と40代で7割近くを占めている。一般的に30~40代は管理職などの役職に就く年代。まさにマネジメントが必要になる立場の方からの関心が高いといえそうだ。男女別では圧倒的に女性が多くなっている(85.5%)。所属機関別の構成では医療機関に所属されている方が8割を超え

## 第5回「全国医療経営士実践研究大会」名古屋大会 日本栄養経営実践協会後援 大会テーマは「地域イノベーション」 研究発表会に医療経営士16人が登壇

10月29日(土)、30日(日)の2日間、第5回「全国医療経営士実践研究大会」(名古屋大会)主催・日本医療経営実践協会、後援：日本栄養経営実践協会、厚生労働省(他)が、愛知県産業労働センターウイングあいち(名古屋市中村区)にて開催された。全国から延べ400人が集まる大盛況となった。

本大会のテーマは「医療経営士が生み出す地域イノベーション」——新たな医療経営が描く日本の未来像」。最初に「地域イノベーション」をキーワードとした特別講演(社会医療法人緑泉会理事 長、米盛病院院長・米盛公治氏)、基調講演(三重大学副学長、同大学地域戦略センター長・西村訓弘氏)が行われた。

特別講演で米盛氏は「人口減少が進む地方都市では、病院経営が厳しくなると言われている。しかし、周辺の人口が減るのであれば、医療圏を広げれば」と述べ、鹿児島市という地方都市において自法人が実践しているイノベーションの一つとして、「医療圏広域化」に向けた取り組みを披露した。

基調講演に登壇した西村氏は、地域イノベーションについて、地域内にすでにある基盤の新結合によって、新たな価値を生み出すという考え方が不可欠であり、地方こそ発想や価値観を転換していくことが求められるとした。さらに実践として、地域医療機関を核とする地域イノベーションを紹介した。

その後、2日間にわたって医療経営士による研究発表会が行われた。今大会では、医療機関・医療従事者部門と医療機関外従事者部門合わせて16人の医療経営士が登壇し、日ごとの研究・実践活動の成果を発表した。審査委員長を務めた東京医科歯科大学大学院教授の川淵孝一氏は、「今大会では、すばらしい発表に対しては人数を制限することなく審査委員奨励賞などを授与することになった。ぜひ、日ごとの成果を存分に発揮してほしい」とエールを送った。

2日間にわたって全発表者がハイレベルなプレゼンテーションを展開。発表後は聴講者も参加してディスカッションや質疑応答では、会場からもさまざまな質問が



医療経営士の熱気あふれる会場は、ほぼ満席となった

医療経営士が生み出す地域イノベーション

閉会挨拶に立った第6回広島大会運営委員長の梶原四郎氏は、「変えていく勇氣、一歩踏み出す力も必要。来年はそうした勇氣を持った医療経営士の発表を楽しみにしている」と呼びかけ、盛況のうちに幕を閉じた。



発表後のディスカッション・質疑応答では、会場からもさまざまな質問が

日本メデイカルダイエティシヤン研究会(JMDS) 学術集会レポーター

# 管理栄養士は常に、患者の命を預かっている という意識で栄養サポートに臨もう！

日本栄養経営実践協会代表理事・宮澤靖氏が会長を務める日本メデイカルダイエティシヤン研究会(JMDS)は、管理栄養士が中心となり医療に栄養学を普及させることを目的に、1999年に設立された。年1回、学術集会が開かれており、今年も10月1日(土)・2日(日)の2日間、いわき産業創造館(福島県いわき市)で開催された。栄養経営士の知見を広げるメッセージが数多くあったことから、本稿ではこの「JMDS2016」についてレポートしたい。

## 成果を論文発表につなげ アウトプットを強化

今年の学術集会「JMDS2016 in Fukushima-iwaki」のメインテーマは「夢の実現を支え続ける管理栄養士であるために——レジリエンスと共に——」に原点から未来へ。本会は、学会発表のための登壇門、という側面を併せ持っており、講演やシンポジウムのほか、若手管理栄養士や学生による演題発表も行われた。



特別講演では、若林秀隆氏が「皆さんの夢は何ですか?」と問いかける一幕も

1日目は若林秀隆氏(横浜市立大学附属市民総合病院医療セン



JMDS会長を務める宮澤靖氏。医療界と介護界の大きな動きにもふれ、自分自身の問題としてきちんと理解してほしいと述べた

「不要な絶食が生じていたら、それは管理栄養士の責任。なぜなら、医師が判断し、管理栄養士が納得した時に初めて絶食となるか



1日に行われたシンポジウムでは、(写真左から)西岡心大氏(長崎リハビリテーション病院)、真壁昇氏(日本栄養経営実践協会理事・関西電力病院)、田村佳奈美氏(かとう内科クリニック)の3人が登壇

ター)による特別講演「リハ栄養におけるNST48の挑戦」で幕を開けた。冒頭、栄養はリハのバイタルサインであると力強く述べた若林氏。高齢者のうち、3人に1人が廃用症候群になっているという報告を紹介したうえで、「リハだけの問題ではなく、低栄養の改善が非常に重要な問題であり、リハと栄養改善の2本柱でないと、ADLは上がらない」と指摘。嚥下障害により食事摂取量が減り低栄養に至る、という流れよりも、低栄養による筋力低下や全身の機能低下により嚥下障害を引き起こる、という流れに注目すべきだと述べた。

で患者を救うためには現場で成果を出し、その成果を世界に発表してガイドラインなどの形に結び付けていくことが必要だとし、仲間づくりやプレゼンスキルを磨くのはもちろん、論文への挑戦を強く呼びかけた。

そのなかで宮澤氏は、米国エモリー大学病院で過ごした2年半が大きな転換期になっていると述べた。同院では誰もが「患者の命を預かっている」とい

う意識で栄養サポートに従事しており、恩師からは医療者としての自覚を徹底的に叩き込まれたという。また、ほぼ寝ずの勤務で疲労がたまり、経腸栄養の処方を書きこんで検討せず、ルーチン業務として処理してしまっただけで、恩師から静かに「白衣を脱いで日本に帰れ」と言われた失敗談も明かした。

最後に、自身が大切にしている言葉として「雲外蒼天」を紹介。若手に向けて「困難を乗り越えた先にはよいことが待っている」と激励の言葉を贈った。

在宅栄養に興味のある管理栄養士の皆さまにおすすめ!  
在宅&外来栄養食事指導の参考図書に最適なレシピ本

## おうちで作る介護食クッキング入門

誰でもすぐに作れる  
やわらか&おいしい30レシピ

摂食嚥下障害の方がよくなる。安全でおいしくて食べやすい食事を作りましょう。手間をかけずに、かんたん調理! コンビニやスーパーで購入できるレトルト食品や調理済み食品、かんたんに作れるお惣菜などからアレンジする介護食レシピをまとめました。ユニバーサルデザインフード(UDF)、学会分類2013との対応もわかりやすく表示しています。



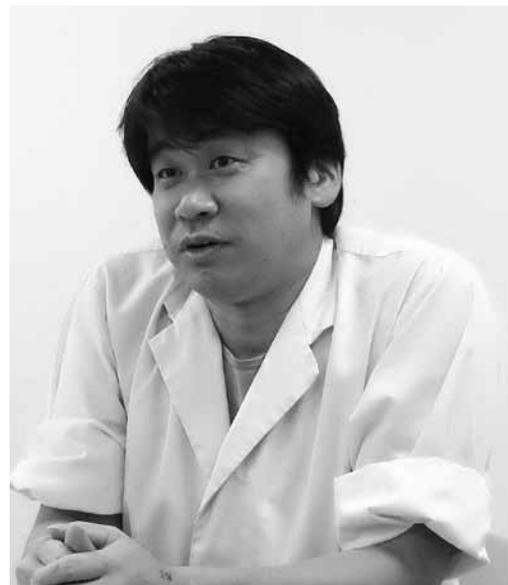
- PART1** お惣菜や手近な食品で作る かんたん介護食レシピ
- PART2** 手間いらず パッククッキング入門&パッククッキングレシピ
- PART3** 高齢者に適した食事と栄養素のバランス
- PART4** 家族のお悩み相談室Q&A
- PART5** 管理栄養士のための 栄養専門情報集

■編著者: 齋藤郁子(認定在宅訪問管理栄養士・Sunshine栄養コンサルタント)  
■著者: 菊谷 武(日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック院長)  
中村育子(福岡クリニック在宅部栄養課課長)  
真井睦子(栗山赤十字病院栄養指導係長)  
吉田貞夫(沖縄メディカル病院副院長)  
■価格: 1,404円(税込)

くわしくは

【お問い合わせ】 株式会社日本医療企画 TEL03-3256-2862

# 現場で活躍する栄養経営士たち



社会福祉法人日本心身障害児協会島田療育センター  
栄養管理部NST室室長  
NST専門療法士 **小林 弘治**さん

## ここ数年が正念場！ 管理栄養士の地位向上をめざし 栄養経営士の新たなステージへ

1961年、日本で最初の重症心身障害児施設として開設した島田療育センターで、2014年からNST室長を務める栄養経営士・小林弘治さん。東京都栄養士会理事や日本栄養士会代議員としても積極的な活動を続けています。

福祉現場の栄養部門の現状や、栄養経営士としての仕事への臨み方などについて、お話をうかがいました。

### 管理栄養士の存在価値を高めるために 病棟に行くことから始めよう！

病棟に行く「栄養剤の成分一覧表がほしい」「体重変動についてどう考えるか」など、他職種からさまざまな要望や相談があり走り回っている毎日ですが、最初からそうだったわけではありません。

私が本センターに入職した2004年当時、栄養部門の存在感は薄く、給食を担当するだけの部署だと思われていました。前に勤めていた急性期病院で栄養管理の習慣が身についていたため、当センターに入職してすぐ当たり前のように病棟でカルテを見ていたところ、看護師に「管理栄養士なのにカルテを見るんですか？」と驚かれたのがとても印象的でした。

管理栄養士の存在価値を認めてもらうためには、とにかく病棟に行って、他職種とさまざまな話をする必要があると考えました。しかし、最初のうちは病棟には入りづらかったですね。そんな私を見て、「一緒に行こう」と誘ってくれたのが言語聴覚士の科長でした。病棟に行き患者の栄養管理について話す機会が増えたことで、他職種からも少しずつ相談が寄せられるようになりました。

病棟に出ることで、管理栄養士としての仕事は充実しましたが、献立作成、調理、食材発注・管理なども行わなければならない。そこで、いかに時間を作るかを真剣

に考えるようになりました。よく、「病棟に行く時間がない」という声を聞きますが、知識がなく恥をかきたくないから、病棟に行けない理由を探しているだけなのではないでしょうか。かく言う私もそうでした。最初のうちは、他職種から何か言われるかもしれませんが、指摘されたことは直せばよいだけです。専門家として主張すべき点は理論的に説明すればよいし、わからないことは「明日まで時間をください」と言って調べて回答すればよい。調べてもわからないことは、医師に教えていただくことで勉強にもなります。他職種とディスカッションができるようになれば楽しいですし、周囲の信頼を得られれば栄養についての相談が増え、やりがいにもつながります。

### 「なければ自分で作る」の精神で 食事栄養成分データベースを作成

当センターは、発達段階にある重症心身障害児・者を中心とした施設なので、食事摂取基準も健康者や高齢者とは異なります。「主食は軟飯、副食はマッシュ食」など複雑な食事構成も多く、栄養計算がしづらい状況でした。そこで2006年、全食形態(6形態(当時))の食事栄養成分データベース(エクセル)を3か月かけて作成しました。生みの苦しみはありましたが、データベースが完成すると、食事内容(量)を入力するだけで栄養成分、栄養バランスが瞬時にわかり、栄養アセスメントの時間を

大幅に削減できました。今では、患者の2006年からの体重変動などもデータベース化し、より詳細な栄養アセスメントができるようになっています。

### 経営企画室も兼任 マネジメントで物事の本質を知る

当センターでは、2015年1月に経営企画室ができ、私は現在、そちらにも所属しています。約1年間、中核職員研修を受け選抜試験で選ばれた10人に、経営企画室長、事務次長、会計科長が加わった13人が、現在の経営企画室メンバーです。職種や部門に関係ない組織横断的構成で、2025年に向けた立ち位置が決まる2018年のW改定を視野に、経営基盤をかためる中心的役割を担うことが期待されています。

私は2014年、大学の専門職向け栄養ケア・マネジメント課程に9か月間通い、栄養部門においてもマネジメントが重要であることを知りました。中核職員研修や『栄養経営士テキスト』でさらに深くマネジメントを学び、日常業務に対する意識が変わりました。広い視野を持つことで、物事の本質が見えてきたように思います。また、診療報酬を知ることで、管理栄養士が行うべき業務は、栄養食事指導など医学管理分野であることを改めて実感しました。国の期待は、点数に反映されますからね。この分野で専門性を発揮することが、管理栄養士の地位向上につながると思います。

今、食事や栄養に注目が集まり、管理栄養士はその専門職として大いに期待されています。ここ数年が、管理栄養士にとっても正念場。先を見て、社会の動きを見て、やるべきことを見極める必要があります。私も栄養経営士として、管理栄養士の地位向上をめざした活動を続けていくつもりです。

#### ◆島田療育センターの食事形態：個人の摂食機能に合わせた食事形態

食事形態	初期食		中期食		後期食
摂食機能	経口摂食準備期	嚥下機能獲得期 捕食機能獲得期	摂食機能獲得期 押し潰し機能獲得期		すり潰し機能獲得期 水分摂取機能獲得期
調理形態	半流動食		押し潰し食(粘調軟固形食)		軟固形食
食べ物の特徴	ポタージュ状	ペースト状	マッシュ状	テリーヌ状 (形があり、舌で潰せる軟らかさ)	歯ぐきで潰せる軟らかさ (食材の形があり、親指と薬指で潰せる軟らかさ)

## マネジメントする栄養経営士のためのスキルアップマガジン

# 栄養経営エキスパート

管理栄養士の方々は学会や勉強会に参加し、知識の習得に努めています。しかし「その習得した知識をどう活かせばいいのか?」「どうすればその知識を患者や利用者に還元できるのか?」と、悩んでいるのではないのでしょうか? 本誌は「その先の進み方」つまり、臨床栄養管理の結果をしっかりと出せる管理栄養士のマネジメントリーダーの育成をめざした雑誌です。

### 『栄養経営エキスパート』の4つのポイント

- ①病態について理解できます
- ②栄養管理のアウトカムの示し方がわかります
- ③栄養管理をベースにしたマネジメントが学べます
- ④リーダーとしてめざすべきゴールを考えられます

●発行:株式会社日本医療企画 ●隔月刊誌・年6回刊行 ●A4判 ●定価:1,620円(税込)

**栄養経営士は割引価格でご購読いただけます!**



次号(1・2月号)  
12月8日発行

特集(仮題)

それは私たち専門職が  
守るべき責務  
医原性の体重減少と栄養管理

くわしくは

『国民の栄養白書 2016』2017年版 発刊

# 食の不安時代を生き抜くサバイバル栄養の実践 さまざまな食のリスクに どう対応すれば良いのか？

日本の食が今、危機的な状況に追い込まれています。気候変動などが農林水産物の収穫等に多大な影響を及ぼすなど、私たちの食・栄養が脅かされています。今回の『国民の栄養白書』は、国民の名に相応しく、私たちが直面する食のさまざまな危機的状況に真正面から向き合い、生き抜くための方策が示されています。

## 亜熱帯化するニッポン

日本の気候は確実に亜熱帯化しています。夏のゲリラ豪雨は、局地的かつ膨大な降雨により甚大な被害をもたらしています。台風もまたその勢力が巨大化するとともに、ルートさえ予想がつかない迷走を続けるなど、長期化するうえ、予測できない状況が増えています。

一方、未曾有の被害をもたらした東日本大地震や今年の熊本地震をはじめ、列島全体の地殻・火山活動が活発化し、日本全体を揺るがしています。

## 予測不能な状況

気象に関するニュースにおいて、「今まで経験したことがない」とか「生命の危険を及ぼす」など、これまで使

遣伝子組み換え食品等により、成人病をはじめとする健康への影響も懸念されています。また、経済効率が優先されるがために、農薬や食品添加物等への配慮も重視されています。

## サバイバル栄養の実践

われらこのことなかつた言葉が日常的に聞かれるようになりました。こうした気候や地殻の変動は、農林水産物の収穫、生産に大きな影響を与えています。日常の食生活を脅かすだけではなく、変動は災害を招きます。

一度、災害が起これば、その地域には被災者が発生します。被災者は過酷な生活環境におかれ、特に食事を摂ることが困難な状況に陥ります。被災者の食・栄養をどのように確保し守るのか、被災現場の食・栄養の問題がある意味で日常化してきたとも言えます。

## ライフスタイルの変容

さらに、欧米化する社会生活も日本人の食に大きな影響を与えています。ファストフードやインスタント食品

私たちは日々、食の不安に向き合っています。これらの不安を解消するため、さまざまなリスクにどのように対応すればよいのでしょうか？ 食品の生産過程における安全性、異常気象と食料管理、震災時の栄養・衛生管理、そして、子どもを取り巻く栄養リスクまで多面的に捉え、その原因や背景を探りながら、食の不安時代を生き抜くためのサバイバル術、つまり、「サバイバル栄養」について考察しなければなりません。

どんな危機的な状況になろうとも、どれほど環境が激変したとしても、私たちは食事を止めるわけにはいきません。人間が存在する源である食・栄養について、今一度、見つめ直す一冊です。



国民の栄養白書 2016-2017年版  
災害、食の安全、生活習慣病…  
食の不安時代を生き抜く  
サバイバル栄養の実践

監修:金田雅代(女子栄養大学 名誉教授)  
B5判並製/208頁  
定価:本体4,000円+税

特別対談 あの震災から学ぶ食のリスク管理

- 金田雅代 女子栄養大学 名誉教授
- 西村一弘 駒沢女子大学人間健康学部健康栄養学科 教授/緑風荘病院運営顧問
- 第1部 食の安全と情報:間違った情報に惑わされないために  
松永 和紀 科学ジャーナリスト
- 第2部 異常気象と食料管理  
脇坂 真史 株式会社Agri Innovation Design 代表取締役/農業プロデューサー
- 第3部 震災時の衛生管理  
中村 明子 特定非営利活動法人栄養衛生相談室 理事長  
金田 雅代 女子栄養大学 名誉教授  
長島 美保子 公益社団法人全国栄養士協議会 会長
- 第4部 子どもを取り巻く栄養リスク  
饗場 直美 神奈川工科大学応用バイオ科学部栄養生命科学科 教授  
金田 雅代 女子栄養大学 名誉教授

## Point2 現場で役立つ別冊付録「アセスメントツールBOOK」

現場にあると便利な栄養アセスメントツールをまとめて、持ち歩きやすい別冊付録にしました。

### 【収録アセスメントツール】

Japan Coma Scale (JCS) /MNA Short Form JAPANESE /EAT-10 /改訂水飲みテストと反復唾液嚥下テスト/ブリストルスケール/日本摂食・嚥下リハビリテーション学会嚥下調整食分類2103/褥瘡DESIGN® ほか



## Point3 最新情報にデータアップ!「資料編」

巻末に掲載する資料では、「大量調理施設衛生管理マニュアル」の一部改正(2016年7月)に対応しています。また、献立づくりに役立つ「旬の食材&シーズンメニュー」のメニュー内容を更新。「臨床検査データ」や「基礎用語解説」は、ちょっとした調べものなどにご活用ください。

## 栄養士・管理栄養士の必携手帳

# 『栄養士ダイアリー2017』



栄養経営士会員特典として  
間もなくお届けします!

毎年ご好評いただいている『栄養士ダイアリー』。栄養経営士の皆さまには、会員特典として、間もなく2017年版をお届けする予定です。そこで本稿では、『栄養士ダイアリー2017』の魅力をお伝えします。

## Point1 業界のトレンドキャッチ!「今月のキーポイント」

季節やトレンドに合わせて毎月1つのテーマをピックアップし、専門家がわかりやすく解説します。業務にすぐ活用できる情報も満載です。

### 【主なキーポイント】

- ・診療報酬改定と管理栄養士の試練  
宮澤 靖 (日本栄養経営実践協会代表理事、近森病院臨床栄養部部長)
- ・統計学のポイント  
栢下 淳 (県立広島大学人間文化学部健康科学科教授)
- ・認知症と嚥下障害  
吉田 貞夫 (沖縄メディカル病院副院長)
- ・高齢者の水分管理  
谷口 英喜 (済生会横浜東部病院周術期支援センター長・栄養部部長)
- ・在宅患者の生活の診方  
中村 育子 (医療法人社団福寿会福岡クリニック在宅部栄養課課長)

## 『栄養士ダイアリー2017』スペシャルセミナー開催決定! アセスメントツールとその臨床活用法

『栄養士ダイアリー2017』発刊を記念して、別冊付録「アセスメントツールBOOK」を監修した谷口英喜氏と牛込恵子氏を講師に迎え、スペシャルセミナーを開催します。別冊付録をどのように使ったら栄養管理に反映できるのか、上手な活用方法などをレクチャーします。

【講師】谷口英喜氏(済生会横浜市東部病院周術期支援センター長・栄養部部長)  
牛込恵子氏(済生会横浜市東部病院周術期支援センター管理栄養士)

【開催日】2016年11月27日(日)13:00 ~16:20(受付開始12:30)

【会場】株式会社日本医療企画東京本社5階(東京都千代田区神田岩本町4-14神田平成ビル)

【定員】45名※定員になり次第、締め切らせていただきます。

【受講料】『栄養士ダイアリー2017』をお持ちの方:3,000円(税込)

※セミナー当日は『栄養士ダイアリー2017』と付録「アセスメントツール」をご持参ください。

『栄養士ダイアリー2017』をお持ちでない方:5,000円(税込)

※『栄養士ダイアリー2017』の金額を含んでいます。商品は当日お渡しします。

【お問い合わせ・お申し込み先】

株式会社日本医療企画 TEL:03-3256-2862(担当:野口)

http://www.jmp.co.jp/seminar/diary/special/

栄養経営士が知っておきたい!

# イベント情報 掲示板

栄養経営士に求められるのは、さまざまな情報へのアンテナを張り、自身の知識・スキルを常にアップデートしておくこと。そのための貴重な機会である、全国で開催されるイベント情報を、支部の研究会を中心に掲載します。

代表理事  
セミナー情報

## 栄養経営士の可能性を考える ～新しい資格の誕生が与える栄養部門へのインパクトとは 於 メディケアフーズ展2017(第9回)

高齢者食・介護食の専門展示会・セミナーである「メディケアフーズ展」(主催:UBMメディア株式会社)に、昨年に引き続き宮澤靖代表理事が登壇。栄養経営の考え方・栄養経営士の可能性について語ります。

- 日程: 2017年1月25日(水)・26日(木)  
※宮澤代表理事のセミナーは25日(水)となります
- 会場: 東京ビッグサイト 西3・4ホール
- メディケアフーズ展事務局(UBMメディア株式会社内)  
〒101-0044東京都千代田区鍛冶町1-8-3 神田91ビル  
TEL:03-5296-1009
- 特設サイト:<http://www.medicarefoods.com/>

北海道支部

## 高齢者がよろこぶ、簡単&おいしい♪ 介護食クッキングセミナー

“嚥む・飲み込む”機能の低下した高齢者がよろこぶ、安全でおいしくて食べやすい介護食づくりを学ぶクッキングセミナー。今回は油を使わずヘルシーかつ旨味が凝縮されたバッククッキングに挑戦します。

- 日時: 2016年11月26日(土)13:00~16:30
- 講師: 齋藤郁子氏  
(認定在宅訪問管理栄養士・Sunshine栄養コンサルタント)
- 会場: 札幌市中央卸売市場 調理実習室  
(札幌市中央区北12条西20丁目2-1 札幌中央卸売市場管理センター2F)
- 受講料: 日本栄養経営実践協会会員:2,500円(税込)  
一般:3,000円(税込)
- ※『おうちで作る介護食クッキング入門』(日本医療企画)付き
- 定員: 50名※定員になり次第、締め切らせていただきます
- お問い合わせ: 日本栄養経営実践協会北海道支部準備室 担当:横尾  
TEL:011-223-5125(株式会社日本医療企画 北海道支社内)

北海道支部

## 医療・介護・栄養3協会支部合同研究会 「社会保障ゼミ」

自分たちが働いている業界のこと、きちんと理解できていますか? 医療・介護・栄養の3経営士合同の研究会で、社会保障制度の基礎からこれからの業界動向までをしっかりと学びましょう。

- 日程(全4回): 11月25日(金)、12月16日(金)、1月20日(金)、2月17日(金)
- 講師: 神内秀之介氏(社会福祉法人深仁会法人本部事業推進部次長)
- 会場: 日本医療企画北海道支社セミナールーム  
(札幌市中央区南1条西6-15-1 札幌あおばビル201)
- 受講料(各回): 日本栄養経営実践協会会員:1,000円(税込)  
一般:1,500円(税込)
- 定員: 30名※定員になり次第、締め切らせていただきます
- お問い合わせ: 日本栄養経営実践協会北海道支部準備室 担当:横尾  
TEL:011-223-5125(株式会社日本医療企画 北海道支社内)

関東支部

## 栄養経営士に必要なマネジメント力講座 ～プレゼン編～

医療人が声を上げ、自分たちのことばで社会にダイレクトにメッセージを発する場であるMEDプレゼンを主催する、一般社団法人チーム医療フォーラム代表理事で当協会副代表理事である秋山和宏先生を講師に迎え、栄養経営士に求められるプレゼン力について学びます。

- 日時: 2016年12月15日(木)19:00~20:00 ※終了後懇親会を予定
- 講師: 秋山和宏氏(医療法人財団松園会東葛クリニック病院副院長・当協会副代表理事)
- 会場: (株)日本医療企画もとみやセミナールーム  
(東京都千代田区神田東松下町17もとみやビル3階)
- 受講料: 日本栄養経営実践協会会員:1,000円(税込)  
一般:3,000円(税込)
- 主催: 日本栄養経営実践協会関東支部
- お問い合わせ: 日本栄養経営実践協会関東支部 担当:梅田  
TEL:03-3256-2885(株式会社日本医療企画 関東支社内)

セミナー情報

## 『栄養士ダイアリー2017』スペシャルセミナー アセスメントツールとその臨床活用法

当協会会員に特典として配布される『栄養士ダイアリー2017』。その付録「アセスメントツールBOOK」を栄養管理にどのように反映させればよいのか、活用法を伝授します(本紙5面下もご覧ください)。

- 日時: 2016年11月27日(日)13:00~16:20
- 講師: 谷口英喜氏  
(済生会横浜市東部病院周術期支援センター長・栄養部部长)
- 牛込恵子氏  
(済生会横浜市東部病院周術期支援センター・管理栄養士)
- 会場: (株)日本医療企画セミナールーム  
(東京都千代田区神田岩本町4-14神田平成ビル5F)
- 受講料: 「栄養士ダイアリー2017」をお持ちの方:3,000円(税込)  
「栄養士ダイアリー2017」をお持ちでない方:5,000円(税込)
- 主催: 株式会社日本医療企画
- お問い合わせ: 日本医療企画関東支社 担当:野口  
TEL:03-3256-2862

九州支部

## 日本栄養経営実践協会九州支部研究会 栄養部門の活躍で活性化する病院経営(仮)

栄養部門の活躍が病院経営に対して与える影響は、決して小さくありません。その認識を栄養部門が理解することが重要です。そのうえで、実際にどう動けばよいのかを一緒に考えていく研究会です。

- 日時: 2016年11月26日(土) 10:00~16:00
- 会場: 事務機ビル7階会議室(福岡市博多区博多駅南1-2-15)
- 受講料: 日本栄養経営実践協会会員:3,000円(税込) ※基礎講習修了者も含む  
一般:4,000円(税込)
- 主催: 日本栄養経営実践協会九州支部
- 講演(1): 「栄養部門の活躍で活性化する病院経営」(仮)
- 講師(1-1): 林田潔氏(佐賀県医療センター好生館副館長・医師・栄養管理部部长)
- 講演(1-2): 小根森智子氏(佐賀県医療センター好生館栄養管理部栄養管理長・管理栄養士)
- 講演(2): 「他部署との連携と経営層への提案法~経営企画室の実践~」
- 講師(2): 田中規彦氏(医療法人シマダ嶋田病院経営企画室部長・医療経営士2級)
- グループワーク: 栄養部門のマネジメントとアウトカム ほか
- お問い合わせ: 日本栄養経営実践協会九州支部 担当:杉安(スギヤス)  
TEL:092-418-2828(株式会社日本医療企画 九州支社内)